

生徒の適切な人間関係構築をめざした研究

～予防・開発的教育相談の手法を用いたSNS使用の指導を通して～

福島県立相馬東高等学校 教諭 猪狩 晃一

1 研究の趣旨

近年、高校生の中で急速に普及しているSNSについては、いじめや過剰使用などの様々な課題が指摘されている。そこで本研究では、情報通信機器を介した友人との関わり方のとらえ直しを基盤に、適切な自己表現の在り方などを体得させることで、生徒の人間関係を構築する力の向上をめざしたいと考え、以下に述べるような仮説を設定し、本主題に迫った。

情報通信機器を介した生徒同士のコミュニケーションの在り方を考えさせる授業に、予防・開発的教育相談の手法を取り入れれば、生徒がより適切な人間関係を築けるようになるだろう。

2 研究の概要

(1) 実態把握

所属校の1年生160人を対象に、SNSの利用頻度や携帯電話の利用サービス内容、対人関係に関する意識などについてアンケート調査を実施し、分析を行った。

(2) 予防・開発的教育相談の手法を取り入れた授業の考案と実施

① 第1回実践授業

○ テーマ 携帯電話による友人間のつながり方をとらえ直す活動

○ 手法 「携帯電話はどんな存在か」

○ 概要 ブレーンストーミング

グループごとに意見を分類・集約する活動を通し、携帯電話がもたらす利便性や即時性のメリットやデメリットを理解させ、どのように携帯電話を使用していきたいかを考えさせた。

② 第2回授業実践

○ テーマ 他者尊重を促す活動

○ 手法 「既読スルーは失礼か」

○ 概要 ケーススタディ

既読スルーに関する事例を提示し、返信が来ないときの不安な気持ちに気付かせるとともに、相手の都合や考え方を尊重することについて、自らの考えを持たせた上で、グループで話し合う活動に取り組ませた。

③ 第3回実践授業

○ テーマ 場面や状況に応じた適切な表現を身に付ける活動

○ 手法 「思いの伝え方を考える」

○ 概要 ソーシャルスキルトレーニング

他者へ配慮しつつ、場面や状況に応じたメッセージを作成することをSNS上のソーシャルスキルと位置付け、その習得をめざす活動に取り組ませた。

④ 第4回実践授業

○ テーマ 適切な自己表現を身に付け、SNS使用上の自律的なルールを作成する活動

○ 手法 「自分も相手も大切にしたい表現」

○ 手法 アサーショントレーニング

○ 概要 アサーティブチェックテストによって、生徒自身の自己表現の傾向を把握させるとともに、SNS使用上のルールを考えさせ、その有効性とアサーティブな提案の仕方をグループごとに検討させた。

3 成果と今後の課題

(1) 振り返りシートによる意識の変容の検証

友人とのよりよいコミュニケーションの方法について理解を示す生徒が回を追うごとに増加し、適切な人間関係を築くことに対する意欲が向上したことが確認された。

(2) 事後アンケートによる行動の変容の検証

実践授業の中で実施した「生徒が自律的にルールを作成し、そのルールを友人に対してアサーティブに提案する」という活動が、日常生活における行動の変容に良い影響を及ぼすことが分かった。

(3) 今後の課題

今後は、さらに予防すべき事例を明らかにするとともに、開発すべき能力並びにその能力を高めるための具体的な方法について、研究を進めていきたい。